

年 組 () 名前

サイン



寒風に揺れる

山市で、特産の干し柿作りが最盛期を迎え、オレンジ色のカーテンが寒風に揺れている。

同市相生の須田和弘さん(61)の約30㍏の農園では、黒糖のような濃厚な甘みが特徴の「紅柿」と、さらっ

とした甘さが特徴の「平核無柿」を栽培している。今年、花が咲く6月頃に天気が良く、受粉がうまくいったことや、夏に適度な雨が降ったことなどから豊作で、例年の5割増しの収量を見込んでいます。

14日は午前8時過ぎ、須田さんから計4人が、柿を収穫したり、皮をむいたりする作業を開始。1本のひもに約20個ずつ結び、高さ約5㍏の「柿ばせ」という干し場につるした。

◆山形県山市で地元の特産品作りが最盛期を迎えています。

(2024年11月16日 読売新聞山形版より)

※先生やおうちの人といっしょに読みましょう。

【1】写真は、ある果物を干しているところです。果物の名前を書きましょう。

【発展問題】冬の果物や食べ物を裏に書きましょう。

年 組 () 名前

サイン



◆ みやぎけん けせんぬまし ぎよこう
宮城県気仙沼市の漁港で、冬の朝に幻想的な
光景が見られる現象が始まっています。

(2024年11月9日 読売新聞夕刊より)

漁港の朝

宮城県気仙沼市の気仙沼湾で9日早

朝、海面から霧が湯気のように立ち上る「気嵐」が見られた。朝日に照らされて黄金色に染まる霧の中、カツオの一本釣り漁船などが行き交う幻想的な光景が広がった＝写真、永井秀典撮影＝。

冷たい空気と海水温の差が大きいときに起きる現象で、晴れて風が弱まった朝に発生しやすい。リアス海岸の同湾は波が穏やかなため、好条件で観察できる名所として知られる。

仙台市太白区から訪れた門脇宏悦さん(67)は「自然のすごさを感じる。気嵐に朝日が差し込む様子に感動した」と満足そうだった。

【1】この現象は、何と呼ばれていますか。また、どのようなときに起きますか。

【2】記事の見出し「漁港の朝」のうしろに入る言葉を、自由に考えて書きましょう。

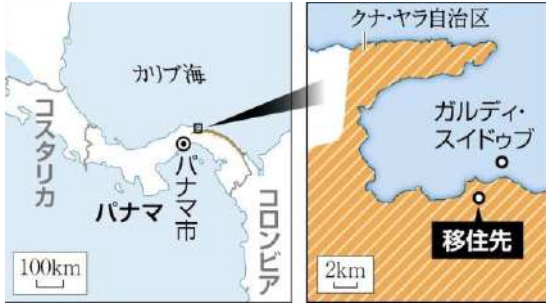
年 組 () 名前

サイン

パナマ

海面上昇

対策急務



パナマ北東部の島ガルディ・スイドゥブでは、海の近くまで家が密集している（10月2日）



◆中米のパナマでは、海面が上昇し、島の住民に影響を与え、対策が急がれています。

（2024年11月13日）

読売新聞朝刊より

カリブ海沿岸のクナ・ヤラ自治区。10月2日、船着き場を訪れると、手芸品「モラ」を縫い付けた民族衣装を着た先住民「クナ族」の女性や親子らがボートに乗り込んでいた。1・4キロ・材ほどの沖合に浮かぶ島ガルディ・スイドゥブの診療所に向かうという。

島は海面上昇で消滅する恐れがあり、島民は6月、内陸部への集団移転を始めた。しかし、移転先の近くに医療機関がないため、今も多くの人々が島と行き来しながらの生活を強いられている。

ヤシやトタンぶきの簡素な家が密集する島は、海抜わずか50センチほど。雨が降ると海面が上昇し、土間に海水が流れ込むため、住民は

土のうを積んで自宅を守っている。海沿いの家はヨットが近くを通るだけでも波が起きて水浸しになるほどで、人口増に伴う住環境の悪化も重なり、住民も移転を望んでいたという。

政府は1220万ドル（約19億円）を投じて自治区の内陸部に300戸の住宅を建設し、これまでに約1400人が移った。しかし、移転先の住宅が足りず、28世帯が今も島で暮らす。

「クナ族は木を大切に生きてきた。気候変動は私たちの責任ではないのに、森を破壊した先進国の代償を払っている」。島に残る店主アウグスト・ウオルテルさん(73)は不満を漏らした。

【1】海面上昇で、島の住民たちはどんな影響を受けているでしょうか。記事から読み取って書きましょう。

【2】世界の他の地域では、海面上昇によって何が起きているか事例を調べて裏に書きましょう。

◆アメリカには「地球は平ら」と考える「フラット・アース」と呼ばれる人たちがいて、宇宙から見た「丸い地球」の映像も否定し、「政府が国民をだましている」という陰謀論に染まる人もいます。

(2024年11月2日 読売新聞朝刊より)

「地球は平ら」肉眼信じる人々

リスケ 点描

気がついてみれば、年は50を超え、それなりに長い時間を生きてきたが、普段の生活で「地球が丸い」と感じたことは一度もない。一方、「地球が丸い」ことを疑ったこともない。

自明に思える「丸い地球」だが、そう思っていない人も実は多い。米国ワシントン支局で特派員をしていた2017年、「地球は平ら」と考える人たちが集まる「フラット・アース国際会議」が南部ノースカロライナ州で開催され、約500人が集まった。彼らは「フラット・アース」と呼ばれている。当時、この人たちの研究をしていたアリゾナ州立大のアシュリー・ランドラム博士に取材する機会があった。

ランドラム博士によると、フラット・アースは「自分は論理的だ」と考

える傾向が強く、「自分の目で見える地球は平らだ」などと自らの感覚を重視していたという。

日常生活では感じなくても、宇宙から見た映像では「丸い地球」は明らかだが、フラット・アースは「アポロ計画はでっち上げだ」などと宇宙開発を否定し、米国政府が国民をだまして、陰謀論に染まっているという陰謀論に染ま

まっていく。彼らは宇宙開発の成果よりも、自らの肉眼で見た「証拠」を優先する。陰謀論は証拠を無視すると思われがちだが、それほど単純でもない。

「こうした陰謀論の広がり」の背景には、専門家を手放して信頼できなくなってきたことがあります。成城大の松村一志准教授（科学論）はそう指摘する。

例えば、新型コロナウイルスを巡る対策。感染予防のためには巣ごもり生活で濃厚接触を避けることが大

事だが、いつまでも巣ごもりしているわけにはいかない。科学的に示されるリスクと経済活動のバランスをどう取るか、専門家によって意見は分かれた。異なる意見、多様なデータの中で自らの判断が求められる。

科学と社会の関係が複雑になり、科学者だけで決められないことも増えている。こうした状況で、専門家の言うことを鵜呑みにせず自ら証拠を探し、「正しいもの」を見極めようとする態度は健全ともいえる。フラット・アースの主張は極端だが、自らが見たものを信頼する姿勢は一貫している。そこに、陰謀論への落とし穴がある。



【1】「フラット・アース」はなぜ「地球は平ら」と考え、陰謀論に染まりやすいのでしょうか。

【発展問題】陰謀論の落とし穴に陥らないためには、どうすれば良いか考えて裏に書きましょう。



学校名 [] 学年 []

氏名 [] 年齢 []

必ず記入
しましょう。

10大ニュースを選ぼう!

◆読売新聞では毎年末に、今年の世界と海外の10大ニュースを読者の投票で決めています。候補となった日本のニュースを見てみましょう。

※先生の指示にしたがって、このワークシートかウェブ投票フォームのどちらかで投票しましょう。

日本

11月26日の読売新聞朝刊や、読売新聞オンラインで、くわしい内容がわかります。

<https://www.yomiuri.co.jp/feature/top10news/>



【問】右の「今年のニュース」から、上位10個を選んで、番号を書きましょう。

| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

- 1月**
 - ①石川・能登で震度7、津波被害
 - ②日航機と海保機が羽田で衝突、炎上
 - ③箱根駅伝、青山学院大が優勝
 - ④政治資金問題で安倍派議員逮捕
 - ⑤日本の探査機、月に初着陸
 - ⑥前田穂南が大阪国際女子マラソンで日本新記録
- 2月**
 - ⑦世界的指揮者の小沢征爾さん死去
 - ⑧名目GDP、世界4位に転落
 - ⑨H3ロケット打ち上げ成功
 - ⑩日経平均株価がバブル期超え
- 3月**
 - ⑪漫画家の鳥山明さん死去
 - ⑫米アカデミー賞に日本2作品
 - ⑬北陸新幹線、金沢―敦賀間延伸開業
 - ⑭日銀、マイナス金利解除
 - ⑮「紅麹」サプリで健康被害、自主回収
 - ⑯尊皇士が110年ぶりに新入幕優勝
- 4月**
 - ⑰静岡県知事、「職業差別」発言で辞意表明
 - ⑱自民、派閥の政治資金問題で39人処分
 - ⑲新潟地裁、原告26人を新潟水俣病と認定
 - ⑳海自ヘリ衝突、8人死亡
 - ㉑円安、34年ぶり1ドル160円台
- 5月**
 - ㉒経済安保「適性評価」新法成立
 - ㉓改正民法成立、「共同親権」導入へ
- 6月**
 - ㉔認証不正でトヨタなど立ち入り検査
 - ㉕心臓移植断念16件判明
 - ㉖「日本版DBS」新法成立
 - ㉗天皇、皇后両陛下が英国公式訪問
- 7月**
 - ㉘最高裁、旧優生保護法を「違憲」
 - ㉙日本銀行、20年ぶりに新紙幣発行
 - ㉚防衛省不祥事で幹部ら218人処分
 - ㉛パリ五輪、日本は海外最多メダル45個
 - ㉜「佐渡島の金山」が世界文化遺産に
- 8月**
 - ㉝「南海トラフ地震臨時情報」初発表
 - ㉞岸田首相が退陣表明
 - ㉟夏の甲子園、京都国際が初優勝
 - ㊱中国軍機が領空侵犯
 - ㊲パリパラ、日本は金メダル14個
- 9月**
 - ㊳猛暑、夏の平均気温が過去最高タイ
 - ㊴囲碁の一力遼棋聖が国際戦で優勝
 - ㊵長崎地裁が「黒い雨」による被爆者認定
 - ㊶「SHOGUN 将軍」が米エミー賞18冠
 - ㊷知床観光船沈没、社長を逮捕
 - ㊸大谷翔平、米大リーグ初「50-50」
 - ㊹能登半島地震の被災地で記録的大雨
 - ㊺大の里が大関昇進、昭和以降で最速
 - ㊻静岡地裁、袴田蔵さんに再審無罪
 - ㊼自民党総裁に石破氏、首相に就任
 - ㊽巨人4年ぶりリーグ優勝
- 10月**
 - ㊾東京都が全国初のカスハラ防止条例
 - ㊿ノーベル平和賞に被団協
 - ①問バイト強盗相次ぐ
 - ②俳優の西田敏行さん死去
 - ③衆院選で与党過半数割れ
 - ④福井中3殺害、再審開始へ
- 11月**
 - ⑤DeNA26年ぶり日本一
 - ⑥福島第一原発、初のデブリ取り出し
 - ⑦内部告発問題で失職の兵庫県知事が再選

(2024年11月26日

読売新聞朝刊より)

学習用端末での投票はこちらから。

<https://forms.office.com/r/vyfBijp2Wk>





学校名 [] 学年 []

氏名 [] 年齢 []

必ず記入
しましょう。

10大ニュースを選ぼう!

◆読売新聞では毎年末に、今年の日と海外の10大ニュースを読者の投票で決めています。候補となった海外のニュースを見てみましょう。

※先生の指示にしたがって、このワークシートかウェブ投票フォームのどちらかで投票しましょう。

11月26日の読売新聞朝刊や、読売新聞オンラインで、くわしい内容がわかります。

<https://www.yomiuri.co.jp/feature/top10news/>



海外

【問】右の「今年のニュース」から、上位10個を選んで、番号を書きましょう。

| | |
|--|--|
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

- 1月**
 - ①米英軍、イエメン反政府勢力の軍事拠点を攻撃
 - ②台湾総統選、頼清徳氏が初当選
 - ③金正恩氏、韓国との平和統一を放棄
- 2月**
 - ④チャールズ英国王のがん公表
 - ⑤ロシアの反政権運動指導者が死亡
 - ⑥米企業の無人船、月面着陸成功
 - ⑦スウェーデンのNATO加盟決定
- 3月**
 - ⑧国際刑事裁判所所長に赤根智子氏
 - ⑨EUの議会がAI法制定
 - ⑩露大統領選でプーチン氏通算5選
 - ⑪香港で国家安全条例成立
 - ⑫大谷翔平の通訳を球団が解雇
 - ⑬米司法省、独禁法違反でアップルを提訴
 - ⑭モスクワ郊外のコンサート会場で銃乱射
- 4月**
 - ⑮台湾でM7.7の地震
 - ⑯韓国総選挙で与党惨敗
 - ⑰イラン、イスラエルを初の直接攻撃
 - ⑱国連安保理の北朝鮮制裁委員会・専門家パネルが活動停止
- 5月**
 - ⑲北京で中露首脳会談
 - ⑳中国、台湾周辺で合同軍事演習
 - ㉑日中韓がソウルで首脳会談
 - ㉒トランプ前米大統領に有罪評決
- 6月**
 - ㉓欧州議会選で右派伸長
 - ㉔インドのモディ政権3期目発足
 - ㉕G7、ウクライナ支援へ露凍結資産活用で基本合意
 - ㉖スイスで国際会議「平和サミット」
 - ㉗中国、月の裏側で試料採取

- 7月**
 - ㉘英国で14年ぶりに労働党政権
 - ㉙イラン大統領選で改革派が当選
 - ㉚トランプ氏狙った暗殺未遂事件
 - ㉛ブラジル、日本人移民らへの迫害を謝罪
 - ㉜ベネズエラ大統領選、現職の「勝利」発表
- 8月**
 - ㉝バングラデシュ首相、抗議デモで辞任し国外脱出
 - ㉞ウクライナ軍、露西部に越境攻撃
 - ㉟タイ新首相にタクシン氏次女
 - ㊱仏俳優アラン・ドロンさん死去
 - ㊲中国、アステラス製薬社員起訴
- 9月**
 - ㊳ペルーのフジモリ元大統領死去
 - ㊴中国で日本人児童が刺殺される
 - ㊵米金利、4年半ぶりに利下げ
 - ㊶中国、太平洋にICBM発射
- 10月**
 - ㊷イスラエル、レバノンに地上侵攻
 - ㊸ガザ戦闘1年、死者4万1000人超
 - ㊹ノーベル物理学賞に「AIのゴッドファーザー」ら
 - ㊺ノーベル文学賞に韓国女性作家
 - ㊻イスラエル、ハマス最高幹部を殺害
 - ㊼インドネシア、新大統領が就任
- 11月**
 - ㊽米大統領選、トランプ氏が勝利
 - ㊾北朝鮮軍部隊のロシアでの戦闘を確認

(2024年11月26日

読売新聞朝刊より)

学習用端末での投票はこちらから。

<https://forms.office.com/r/0x43RqTW5j>

